

1 企画展

木版画の詩人 川上澄生展

- 会期 平成19年4月28日(土)～5月27日(日)
- 主催等 主催：茨城県つくば美術館
- ポスター B 2
- チラシ A 4
- 図録 280×224mm 99頁
編集：舟木力英（茨城県つくば美術館分館長）
表紙デザイン：水家実和子
（茨城県つくば美術館囑託）
展覧会協力・画像提供：栃木県立美術館
制作：株式会社あけぼの印刷社
発行：茨城県つくば美術館
- 入場者数 3,466人
- 観覧料 一般380(320)円／高・大生280(220)円／
小・中生180(120)円
※()内は20名以上の団体料金

●出品点数 136点

●内容解説

詩人として、また版画家として知られる川上澄生は、横浜に生まれた。早くから詩・音楽・木版画に親しみ、当時の詩人たちや版画家などから多くの影響を受けた。澄生の作風には、詩人的・音楽的感性と、その生まれ育った環境や時代の趣向を反映して、西洋文化と日本的なモチーフが融合した独特な異国趣味が見られる。中でも南蛮紅毛のキリシタン文化や明治期の文明開化のモチーフなどがよく知られているが、今回の展覧会では、特に絵本『にかのる王傳』や『雪のさんたまりや』などの出典を探り、その他、多くの〈受け容れられない愛のモチーフ〉を扱った

作品に新しい視点を提示した。

本展は、栃木県立美術館の協力により、136点をまとめて借用し、詩的で異国趣味溢れる隣県の優れた芸術家の作品をわかりやすく紹介した。

●担当 舟木力英（副参事兼分館長）

●関連事業

ワークショップ

キッズアーティストあつまれ！「版画ワークショップ」

講師 田島直樹（版画家・筑波大学講師）

日時 5月3日(木・祝) 午後1時～4時30分

会場 筑波大学芸術専門学群版画工房、美術館展示室
ギャラリー・トーク

講師 舟木力英（つくば美術館分館長）

日時 5月5日(土) 午後1時30分～3時

会場 展示室

講演会

「川上澄生の芸術」

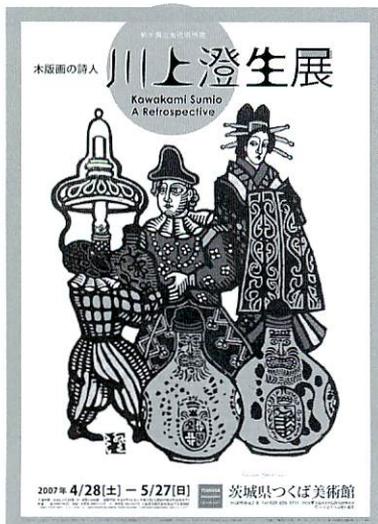
講師 竹山博彦（美術評論家）

日時 5月12日(土) 午後1時30分～3時

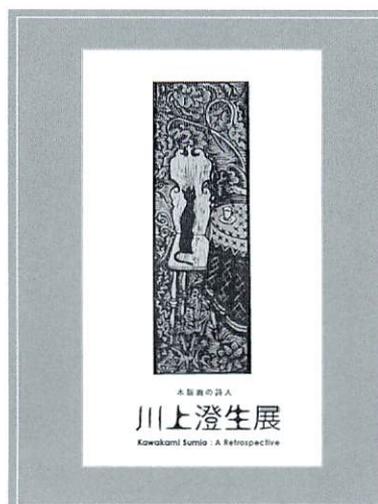
会場 アルスホール

●関連記事

- ・「栃木県立美術館所蔵・木版画の詩人 川上澄生展」
（舟木力英） 3月9日【茨城県近代美術館だよりNo.75】
- ・「Sumio Kawakami：Japón y Occidente」
4月2日【International Press】
- ・「28日から川上澄生展」 4月8日【茨城新聞】
- ・「異国趣味漂う作品」 4月11日【毎日新聞】
- ・「異国情緒たっぷり」 4月14日【常総新聞】
- ・「女性への強い思慕率直に」（舟木力英）
4月19日【朝日新聞】
- ・「木版画の詩人—川上澄生展」 4月25日【朝日新聞】
- ・「川上澄生展」 4月27日【毎日新聞】
- ・「「南蛮」描く港町生まれ」（舟木力英）
4月29日【常陽新聞】



ポスター B 2



図録



チラシ A 4

- ・「清新な詩句 心地よく」(舟木力英) 5月5日【常陽新聞】
- 4月30日【常陽新聞】
- ・「洋傘は意中の人の象徴か」(舟木力英) 5月6日【常陽新聞】
- ・「初夏の風」など136点 4月30日【常陽新聞】
- ・「隠れキリシタンの伝承に感動」(舟木力英) 5月10日【両毛新聞】
- 5月1日【常陽新聞】
- ・「川上澄生作品の展示」 5月11日【日本経済新聞】
- ・「永遠の一瞬」刻む 5月2日【常陽新聞】
- ・「木版画の詩人 川上澄生展」 5月17日【東京新聞】
- ・「心を奪われているのに」(舟木力英) 5月3日【常陽新聞】
- ・「木版画の詩人「川上澄生展」」 5月17日【常陽新聞】
- ・「学芸員によるギャラリートーク」 5月3日【東京新聞】
- ・「川上澄生の魅力語る」 5月17日【常陽新聞】
- ・「四番目の王」の物語」(舟木力英) 5月4日【常陽新聞】
- ・「川上澄生展」 5月23日【毎日新聞】
- ・「今月のランキング(第6位)」7月号【月刊ギャラリー】
- 関連放送
- ・「みんなの教育」 4月28日【IBS茨城放送】
- ・「おもしろーかるいばらき」 5月2日【IBS茨城放送】
- ・「木版画の詩人の作品を紹介」 5月4日【公明新聞】
- ・「マリア、そして女性への賛美」(舟木力英)

●出品作品一覧

(出品作家：川上 澄生)

No.	分野	作品名	制作年	寸法(縦×横)cm	材質
1	版画	黒き猫	1920	28.2×9.5	紙・多色刷
2	版画	仮面舞踏会	1921	23.4×12.2	多色刷
3	版画	煙突のある家	1921	20×15.7	二色刷
4	版画	屋根	1921	22.5×15	多色刷
5	版画	教会	1922年頃	21.5×16.2	多色刷
6	版画	教会の塔	1922年頃	17×25	多色刷
7	版画	異国小景	1922	17.5×18.2	
8	版画	枯れたひまわり	1923	21.2×15.8	紙・木版多色刷
9	版画	横浜海岸之図	1923	15.7×24	紙・木版多色刷
10	版画	横浜山手之図	1923	18×26	紙・木版
11	版画	横浜山手之図	1923	7.6×35.2	紙・木版墨刷
12	版画	婦人像	1923	22.5×14.5	紙・木版多色刷
13	版画	うなぎ	1923	18×12	紙・木版墨刷
15	版画	水兵と女	1923	23×15	多色刷
16	版画	横浜山手の洋館	1923	16×23	紙・木版多色刷
17	版画	異国夜景	1920年代	36×8	二色刷
18	版画	異国春光	1924	22.7×32	多色刷
19	版画	レダシリーズ(1) レダと白鳥	1924	9.4×14.6	紙・墨刷
20	版画	レダシリーズ(2) 水浴図I	1924	9.5×14.6	紙・墨刷
21	版画	レダシリーズ(3) 水浴図II	1924	9.5×14.6	紙・墨刷
22	版画	レダシリーズ(4) 幻想の街	1924	9.4×14.8	紙・墨刷
23	版画	ウナラスカの教会	1924年頃	24×16	単色刷
24	版画	アラスカ風景(白い墓標)	1924年頃	15.8×22.6	多色刷
25	版画	好天の日	1925年前後	24.2×16.2	多色刷
26	版画	樹	1925年前後	22.5×15	多色刷
27	版画	丘の上の教会	1925年前後	25×17.5	二色刷
28	版画	夜の樹	1925年前後	26×19.2	紙・木版多色刷
29	版画	夜の景	1925年前後	17.5×22.5	紙・木版二色刷
30	版画	よりそう影	1925年前後	22.8×15	紙・木版多色刷
31	版画	マドロスと女	1925年前後	15.8×22.7	紙・木版単色刷
32	版画	幻想の阿媽港	1925	21×26	多色刷
33	版画	抱擁	1925年頃	19.5×26.2	多色刷
34	版画	夏の夜の夢	1925年頃	17.5×22.5	紙・木版二色刷
35	版画	水浴図	1925年頃	15.1×20.5	モノタイプ
36	版画	水浴図	1925年頃	15.8×24	モノタイプ
37	版画	水妖精	1925年頃	18×23	二色刷
38	版画	初夏の風	1926	22.8×34.9	紙・木版
39	版画	初夏の風(ローマ字版)	1926	22.6×17	紙・木版
40	版画	顔	1926	18×24.3	多色刷
41	版画	絵ノ上ノ静物	1926	22.5×31	多色刷

No.	分野	作品名	制作年	寸法(縦×横)cm	材質
42	版画	自鳴鐘ト喇叭之図	1926	24.5×15	紙・墨刷
43	版画	海に見える風景	1926	22.2×31.2	紙・木版
44	版画	煙管四本	1927	26×21.7	紙・多色刷・後摺
45	版画	風船乗り	1927	22×24.3	紙・木版
46	版画	馬車	1927	14.2×21	多色刷
47	版画	鬼ごと	1928	31.3×25.9	紙・木版
48	版画	的	1928	22×31.5	多色刷 3枚組
49	版画	燈下椿花之図	1928	16.6×16	黄艶紙・多色刷
50	版画	山中草原	1928年頃	23.6×15.7	紙・二色刷
51	版画	身辺静物	1929	15.2×22	多色刷
52	版画	新東京百景 丸ノ内曇日	1929	17.6×25	紙・木版
53	版画	新東京百景 観兵式	1929	18.2×24.2	紙・木版
54	版画	日傘の娘	1920年代	14×10	紙・木版
55	版画	標本図(植物・魚・蛾)	1930	22.3×30.2	紙・多色刷
56	版画	時計店の図	1930	29×21.4	紙・木版
57	版画	湯屋正面図	1930	22.3×30.2	紙・木版
58	版画	静物(みかんと豆洋燈)	1930	15×22.3	紙・木版
59	版画	時計と着せ替え人形	1930	33.2×36.2	紙・多色刷
60	版画	パン	1930	25.5×33.3	黄艶紙・木版
61	版画	新東京百景 丸ノ内一景	1930	18×24	紙・木版
62	版画	新東京百景 百貨店内部	1930	18×24.2	紙・木版
63	版画	新東京百景 浅草公園 カジノフォーリー	1930	18×24	紙・木版
64	版画	新東京百景 魚河岸	1931	18×24.4	紙・木版
65	版画	野球大会之図	1932	22.2×28.6	
66	版画	飛んでゐる昆虫	1932	17.5×14.5	多色刷
67	版画	川ぞいの風景	1932	22.3×31.5	紙・木版
68	版画	地球儀・地理書・洋燈・砂時計	1932年以前	48.1×33.3	墨刷手彩色
69	版画	紙帽子・仮面・襟・勲章	1932年前後	28×21.2	紙・木版
70	版画	積木之図	1933	16.5×22.5	紙・木版
71	版画	黒船図	1935	32×24.6	揉紙・墨刷手彩色
72	版画	人力三台馬車一台	1936	31.5×42.5	紙・木版
73	版画	花	1936	37×26.2	紙・墨刷手彩色
74	版画	村童野球戯之図	1936	31×41	紙・木版
75	版画	時計図	1936頃	29×30	紙・木版(墨刷手彩色)
76	版画	蛮船図	1939	72×52	紙・木版・彩色
77	版画	洋燈・女・猫	1939	27.2×23.8	紙・木版
78	版画	頭巾・手風琴・煙管・遠眼鏡	1942	34×22.5	紙・木版
79	版画	着せ替え人形	1943年頃	16.9×24	墨刷手彩色
80	版画	天使と悪魔	1946	30.5×21	黄紙・ステンシル
81	版画	蛮船入津(街景)	1949	29×31.6	紙・墨刷手彩色
82	版画	玉虫の小箱	1949年頃	13×16	多色刷
84	版画	静物(地球儀ノアル)	1950	33×41.3	紙・木版
85	版画	踏絵	1952	33.5×48.5	墨刷手彩色
86	版画	まりあ観音	1950年代前半	23×15.8	羅紗紙単色刷
87	版画	蛮船入津(船載珍貨)	1953	52×72	紙・木版・彩色
88	版画	胸中の地図	1953	33.5×43	革・木版
89	版画	ナタルの前夜	1953	25×19.3	紙・木版
90	版画	おもちゃ南瓜という小さい南瓜	1953年頃	36.3×38.5	紙・木版・彩色
91	版画	南蛮船舳之図	1953年頃	25.6×13.8	紙・木版
92	版画	少年使節	1954	51.5×72	紙・木版・彩色
93	版画	花をもてる女	1954	24.4×21.1	紙・木版
94	版画	横浜十二番	1954	17.8×24.2	紙・墨刷手彩色
95	版画	さ迷へるゆだやびと	1955	23.2×34.5	紙・墨刷手彩色
96	版画	南蛮ぶり	1955	45×52	黄紙・多色刷
97	版画	南蛮人物碗	1955年頃	27.2×24.2	墨刷手彩色
98	版画	静物	1955年頃	47×48.5	羅紗紙・木版
99	版画	偽版GIPANG 古地図	1956	21×28	紙・多色刷・再摺
100	版画	静物(硝子壺とブロンズ像)	1957	47×64	黄紙・多色刷
101	版画	日本へ	1957	51.5×72	墨刷手彩色
102	版画	きりしたん武士	1958	44.3×58.8	紙・木版
103	版画	円卓の武者	1959	51.5×72	紙・墨刷手彩色

No	分野	作品名	制作年	寸法(縦×横)cm	材質
105	版画	洋燈と骸骨	1959	37.6×25.6	羅紗紙・多色刷
106	版画	女と洋燈	1959	27×42	銀紙多色刷
107	版画	日本古地図	1960	51.8×69	墨刷手彩色
108	版画	舶載珍貨	1960	61.5×52	紙・木版
109	版画	悲しみの聖母	1960	68.3×51.5	墨刷手彩色
110	版画	蛮船入津(鏡)	1962	42×58.5	紙・木版・彩色
111	版画	横浜	1962	51.5×72	紙・木版・彩色
112	版画	木馬の聖女	1962年頃	44×31	黄紙墨刷
113	版画	前向き南蛮船図	1963	72.5×52.5	紙・木版・彩色
114	版画	蝶	1963	31.8×40.7	カンヴァスボード・木版・彩色
115	版画	英吉利国ろんどん東印度会社之図	1963	65×45	紙・木版・彩色
116	版画	明治風俗 1	1963	31.7×25.3	紙・多色刷
117	版画	明治風俗 2	1963	31.7×25.3	紙・多色刷
118	版画	石油ランプいろいろ	1963	31.7×25.3	紙・多色刷
119	版画	瓦斯燈いろいろ	1963	31.7×25.3	紙・墨刷手彩色
120	版画	女学生(明治調十題5)	1968	25×21	紙・木版
121	版画	樽前山遠望	1970	22×24	紙・木版
122	版画	婦人と蛮船図	1972	44.2×63.8	革・墨刷手彩色
123	本/シリーズ版画	谷崎潤一郎『人魚の嘆き』	1930年代	18×11.5	木版・墨刷 扉十本図16枚
124	本/シリーズ版画	ヨナ物語	1945～6年頃	24.5×17	木版・二色刷
125	本/シリーズ版画	アラスカ物語	1966	36×52	木版・多色刷 19図
126	本/シリーズ版画	四季のたのしみ西洋骨牌	1960	19.8×15.9	紙・墨刷手彩色
128	本/シリーズ版画	にかのる王傳	1947	24×16.7	紙・木版・手彩色
129	本/シリーズ版画	あだんとえわ	1948	20.5×15	紙・木版・手彩色
130	本/シリーズ版画	雪のさんたまりや	1961	28×19	紙・木版・手彩色
131	水彩・素描	Bon Voyage	1920年代	22.1×14.5	紙・水彩
132	水彩・素描	CHATEAU EN ESPAGNE	1920年代	34×12.2	紙・水彩
133	油彩画等	トルソー(胴体)	1952	14.2×9	ガラス絵(ガラス・油彩)・額(木彫・彩色)
134	油彩画等	喫嘴	不詳	11.3×17.9	ガラス絵(ガラス・油彩)・額(木彫・彩色)
135	工芸	木彫スプーン	不詳		木・ガラス玉
136	工芸	木彫スプーン	不詳		木
137	工芸	木彫スプーン	不詳		木
138	工芸	木彫ヘヤピン	不詳		木
139	工芸	木彫ヘヤピン	不詳		木
140	工芸	木彫ヘヤピン	不詳		木

＜素材×技術＞からフォルムへ —布と金属—

- 会期 平成19年7月27日(金)～8月26日(日)
- 主催 茨城県つくば美術館
- ポスター B 2
- チラシ A 4
- 図録 296×225mm 111頁
編集・執筆：外館和子（茨城県つくば美術館主任学芸員）
デザイン：水家実和子（茨城県つくば美術館嘱託）
制作：印象社
発行：茨城県つくば美術館
- 入場者数 6,052人
- 観覧料 一般380(320)円／高・大生280(220)円／
小・中生180(120)円
※()内は20名以上の団体料金
- 出品点数 53点
- 内容解説

日本の工芸の文脈から現れた素材や技術にねざした造形表現が“立体の芸術”として自律的な展開を示して既に久しい。とりわけ60年代以降の様々な表現ジャンルとの交流を背景に、70年代以降、染織はジャンルのアイデンティティを模索する一方、「ファイバーワーク」という言葉に象徴されるように表現内容が大幅に拡張し、国際的にも高い評価を得る表現領域となっている。

関西圏を中心に作家の活躍が目立つ染織に対し、関東では金属造形の分野にやはり70年代後半より、明確な主張をもった個性的な作家が登場してきている。いずれの領域に置いても、染料、繊維、銅や鉄といった形なき素材を立体として成立させるため、作品の構造や制作のプロセスを意識して造形するという共通の発想がある。

本展はそのような工芸の地平から現れた、今日の日本を代表する染め・織り・金属造形の作家たち計8人（小名木陽一・久保田繁雄・須藤玲子・福本潮子・福本繁樹・八幡はるみ・橋本真之・留守玲）の作品と彼らの空間へのアプ

ローチを通して、素材や技術から発想し展開させる現代の造形表現の魅力を、つくば美術館展示室及び屋外展示場の全体を使って紹介した。

●担当 外館和子（主任学芸員）

●関連事業

シンポジウム

「素材×技術からフォルムへ」

パネリスト 久保田繁雄（織り作家）・福本繁樹（染め作家）・橋本真之（金属造形作家）・外館和子（つくば美術館主任学芸員）

日時 8月4日(土)午後2時～

会場 アルスホール

ワークショップ

キッズアーティストあつまれ!「藍染めワークショップ」

講師 福本潮子（染色作家）

日時 8月11日(土)・12日(日)午前10時～午後4時

会場 美術館2階講座室

ギャラリー・トーク

講師 外館和子（茨城県つくば美術館主任学芸員）

日時 8月19日(日)午後2時～

会場 展示室

●関連記事

- ・「＜素材×技術＞からフォルムへ—布と金属」(外館和子) 7月10日【茨城県近代美術館だよりNo.76】
- ・「＜素材×技術＞からフォルムへ—布と金属」(佐川友一) 7月25日【茨城新聞】
- ・「素材や技術の可能性を追求」 7月31日【常陽新聞】
- ・「素材×技術からフォルムへ—“日本の造形史観”」(外館和子) 8月1・11日【新美術新聞】
- ・「現代工芸の根源へ—シンポジウム開催」 8月1・11日【新美術新聞】
- ・「小名木陽一《赤い手袋》「立体織り」が生む作品」(外館和子) 8月8日【茨城新聞】
- ・「福本潮子《天空》青の布地が連なる大作」(外館和子) 8月15日【茨城新聞】
- ・「須藤玲子《たなばた》布地の構造をデザイン」(外館和子) 8月20日【茨城新聞】



ポスターB 2



図録



チラシA 4

- ・「<素材×技術>からフォルムへー布と金属」
8月21日【新美術新聞】
 - ・「留守玲《森一下向きに生える100の麟角》鉄から生み出す生命体」(外館和子) 8月22日【茨城新聞】
 - ・「小名木陽一《赤い手袋》繊維による新しい造形表現」(外館和子) 8月14日【常陽新聞】
 - ・「福本繁樹《風神にUJIN '91-S》現代の琳派, 光の効果取り込む」(外館和子) 8月15日【常陽新聞】
 - ・「久保田繁雄《The wave space V》洗練されたグラデーション美」(外館和子) 8月16日【常陽新聞】
 - ・「福本潮子《霞の茶室》抜き差しならない藍と布地の関係」(外館和子) 8月17日【常陽新聞】
 - ・「八幡はるみ《HEAVEN》「染め」による新たな空間表現」(外館和子) 8月18日【常陽新聞】
 - ・「須藤玲子《バーナー染め》バーナーで帯状に焼く模様」(外館和子) 8月19日【常陽新聞】
 - ・「橋本真之《果樹園一果実の中の木もれ陽・木もれ陽の中の果実》究極の実材主義者の手技」(外館和子) 8月20日【常陽新聞】
 - ・「留守玲《洗いざらしの記憶》「実在表現」担う大型新人」(外館和子) 8月21日【常陽新聞】
 - ・「<素材×技術>からフォルムへー布と金属」
8月号【芸術新潮】
 - ・「イズムとしての実材表現をめぐって」(外館和子) 9月11日【新美術新聞】
 - ・「今月のランキング(第5位)素材×技術からフォルムへ」
10月号【月刊ギャラリー】
- 関連放送
- ・「みんなの教育」 7月28日【IBS茨城放送】
 - ・「スウィングレポート」 8月3日【IBS茨城放送】

●出品作品一覧

No.	作家名	作品名	制作年	サイズ (高さ×幅×奥行) 縦×横)cm	素材・技法	所蔵
1	小名木 陽一	裸の花嫁	1972	280×120×120	木綿, 立体織	京都市美術館
2	小名木 陽一	赤い手袋	1976	250×120×270	木綿, 立体織	東京国立近代美術館
3	小名木 陽一	壁に掛けられた黄色い半球Ⅲ	1998	200×200×60	ジュート麻, 羊毛, 平織	
4	小名木 陽一	壁に掛けられた黄色いピラミッド V	1998	200×200×63	ジュート麻, 羊毛, 平織	
5	久保田 繁雄	Echo of the Ocean II	1975	250×260×90	サイザル麻, ラミー麻, 平織, 縫い, (金属)	
6	久保田 繁雄	古式の微笑 II	1981	180×155	羊毛, 綿糸, 綴織, シャギー織, コ イリング	
7	久保田 繁雄	The Wave Space II	1988	220×480×140	サイザル麻, ラミー麻, 平織, 縫い, (金属)	東京国立近代美術館
8	久保田 繁雄	笑う鳥 V	1994	176×320×28	サイザル麻, ラミー麻, 平織, 縫い, (ベニヤ板)	
9	久保田 繁雄	回帰 V	1996	145×260×260	サイザル麻, ラミー麻, 平織, 縫い, (金属)	
10	久保田 繁雄	The Wave Space V	2007	450×500×350	テグス, 平織, 縫い	
11	福本 潮子	風	1987	180×180	トルファン綿, 染料(藍), 養老絞り, 折りたたみ縫い絞り, (ガラス, 竹)	
12	福本 潮子	水	1988	180×180	トルファン綿, 染料(藍), 養老絞り, 折りたたみ縫い絞り, (ガラス, 竹)	
13	福本 潮子	天空	1989	各200×180 全体1600	麻, 染料(藍), 絞り, 折りたたみ縫い 絞り, (金属)	国立国際美術館
14	福本 潮子	霞の茶室	1990	180×180×200	麻, 染料(藍), 量かし染, 染み染, よろけ加工(ブラシで横糸を動か す), (和紙, 真鍮の上に漆)	
15	福本 潮子	時空 3	1991	180×150	麻, 染料(藍), 量かし染, 染み染, よろけ加工(ブラシで横糸を動か す), (ガラス)	東京国立近代美術館
16	福本 潮子	銀河	1998	270×300	綿, 染料(藍), 折りたたみ縫い絞り, 織り縫い絞り	
17	福本 繁樹	七彩譜	1987	各220×330 (六曲一雙屏風)	綿, 反応性染料, 型紙使用ろう染	
18	福本 繁樹	風神FUJIN '91-S	1991	244×695×20 (変形パネル15点組)	綿布, 反応性染料, 型紙使用ろう染	染・清流館
19	福本 繁樹	再生一六大(地・水・火・風・空・識)	2005	240×120×6 (パネル3点組)	綿布, 麻布, レマゾール染料, ろう 染, 布象嵌	
20	八幡 はるみ	DREAMS	2005	288×480 (96×96の パネル15点 組)	木綿布, 絹布, 染料, 顔料, 金箔, シェイプド・ダイ, スクリーン・プ リント, インクジェット・プリント その他の混合技法	
21	八幡 はるみ	HEAVEN	2007	288×288 96×96 (パネル9点組)	木綿布, 絹布, 染料, 顔料, 金箔, シェイプド・ダイ, スクリーン・プ リント, インクジェット・プリントそ の他の混合技法	

No.	作家名	作品名	制作年	サイズ (高さ×幅×奥行) 縦×横 cm	素材・技法	所蔵
22	八幡 はるみ	半袖アロハシャツ「赤い花」	2003 (シャツ制作2007)	ユニセックスSサイズ	ウールモスリン、反応性染料によるデジタル・インクジェット・プリント	
23	八幡 はるみ	半袖アロハシャツ「華華-赤」	2005 (シャツ制作2007)	ユニセックスSサイズ	ウールモスリン、反応性染料によるデジタル・インクジェット・プリント	
24	八幡 はるみ	半袖アロハシャツ「華華-黄」	2005 (シャツ制作2007)	ユニセックスSサイズ	ウールモスリン、反応性染料によるデジタル・インクジェット・プリント	
25	八幡 はるみ	半袖アロハシャツ「HANAHANA-黒」	2005 (シャツ制作2007)	ユニセックスSサイズ	ウールモスリン、反応性染料によるデジタル・インクジェット・プリント	
26	八幡 はるみ	半袖アロハシャツ「HANAHANA-緑」	2005 (シャツ制作2007)	ユニセックスSサイズ	ウールモスリン、反応性染料によるデジタル・インクジェット・プリント	
27	八幡 はるみ	半袖アロハシャツ「ROSE」	2005 (シャツ制作2007)	ユニセックスSサイズ	ウールモスリン、反応性染料によるデジタル・インクジェット・プリント	
28	八幡 はるみ	半袖アロハシャツ「花影」	2007 (シャツ制作2007)	ユニセックスSサイズ	ウールモスリン、反応性染料によるデジタル・インクジェット・プリント	
29	八幡 はるみ	半袖アロハシャツ「TSUBAKI」	2007 (シャツ制作2007)	ユニセックスSサイズ	ウールモスリン、反応性染料によるデジタル・インクジェット・プリント	
30	八幡 はるみ	半袖アロハシャツ「シワ模様-白」	2007 (シャツ制作2007)	ユニセックスSサイズ	ウールモスリン、反応性染料によるデジタル・インクジェット・プリント	
31	八幡 はるみ	半袖アロハシャツ「シワ模様-黄緑」	2007 (シャツ制作2007)	ユニセックスSサイズ	ウールモスリン、反応性染料によるデジタル・インクジェット・プリント	
32	須藤 玲子	羽オーガンジー	1993	570×86φ	絹100%、羽、ジャガード織機に羽を手差し	
33	須藤 玲子	錆染め	1994	570×86φ	レーヨン100%、錆刻印	
34	須藤 玲子	赤銅布(あかがね)	1994	570×86φ	銅線60%、綿40%、緯糸の銅線をポリウレタン樹脂でコーティング	
35	須藤 玲子	苔寺	1996	570×86φ	レーヨン76%、ポリエステル24%、二重織りで袋状に織ったものの表面に加熱	
36	須藤 玲子	輪ゴムちらし	1997	570×86φ	麻100%、アクリル・シリコン	
37	須藤 玲子	とき紙	1997	570×86φ	ポリエステル43%、和紙57%、ポリエステル・オーガンジーに美濃和紙を加工後、織り込む	
38	須藤 玲子	水銀	1997	570×86φ	絹100%、異なる色の絹オーガンジーを重ね、アクリル樹脂プリントし接着、アルミニウム箔加工	
39	須藤 玲子	シャッター	1997	570×300φ	ナイロン100%、テープ状ナイロンを絡める	
40	須藤 玲子	チーズ	1998	570×86φ	綿39%、毛41%、ポリエステル20%、織った後、綿部分を酸で焼き、毛部分はアルカリ溶解	
41	須藤 玲子	ステンドグラス	1998	570×86φ	ポリエステル70%、綿30%、綿部分を酸焼き	
42	須藤 玲子	アマテ	2000	570×86φ	表面：レーヨン100%、グラント：ポリエステル100%、越前和紙、ペルベットに越前和紙を接着後、水・剛毛ブラシで不要部分を流し模様を残す	
43	須藤 玲子	バーナー染め	2000	570×86φ	表：ステンレス100%、裏：綿100%、バーナー焼き	
44	須藤 玲子	グリーンファブリック	2001	570×86φ	トウモロコシの実を原材料とする生分解性糸	
45	須藤 玲子	ティギー	2002	570×86φ	綿100%、平たい緯糸を浮かして織り、浮いた糸をカット	
46	須藤 玲子	紙巻き	2002	570×86φ	ナイロン100%、タフタ布をカットしテープ状にして使用	
47	須藤 玲子	ビッグエッグ	2003	570×86φ	ポリエステル100%、越前和紙、和紙貼付	
48	須藤 玲子	シーシー	2003	570×86φ	綿47%、銅53%	
49	須藤 玲子	布つなぎ	2004	570×86φ	絹100%、NUNOの残布をパッチワーク	
50	須藤 玲子	たなばた	2005	570×86φ	ポリエステル100%、折り紙の中に生地を入れ、転写プリントで染色、仕上げにヒートカットナイフで切り込み(特許取得技術)	
51	橋本 真之	果樹園-果実の中の木もれ陽、木もれ陽の中の果実(展開部分)	2007	233×700×335	銅、鍛金(当て盤絞り)、熔接	
52	留守 玲	洗いざらしの記憶	2002	32×185×75	鉄、熔接、溶断、鍛金	
53	留守 玲	森-下向きに生える100の鱗角	2006	170×320×182	鉄、熔接、溶断、鍛金	

Double Collections 茨城県近代美術館コレクション展 + 筑波大学所蔵石井コレクション展

- 会期 平成19年10月5日(金)～10月28日(日)
- 主催 茨城県つくば美術館・国立大学法人筑波大学
- ポスター B 2
- チラシ A 4
- 入場者数 2,705人
- 観覧料 一般180(140)円/高・大生110(80)円/
小・中生80(50)円
※()内は20名以上の団体料金

●出品点数 99点

●内容解説

本館の所蔵品を分館である茨城県つくば美術館で紹介する展覧会。今回は所蔵品を通して日本近代洋画の流れを概観する内容とした。併せて、県と筑波大学との提携事業の促進という観点から、筑波大学所蔵の石井コレクションを特別展示し、ダブル・コレクション展とした。このことによって、従来の所蔵品展に新風をもたらし、県内美術愛好者層にいっそうのサービスを図った。

なお、石井コレクションは、石井昭氏(図書館流通センター会長)が筑波大学に寄付講座を開設するのが縁で美術作品86点が寄贈されたものである。藤田嗣治、国吉康雄、池田満寿夫らの作品を含み、今回の所蔵品展の内容をいっそう興味深いものとした。石井コレクションの中国・朝鮮・日本の古陶磁器を含め出品総数は99点とし、展示に当たっては、筑波大学教官の指導・協力を得た。

●担当 舟木力英 外館和子

●関連行事等

ワークショップ

「かたちをつくる」

講師 齋藤敏寿

日時 10月13日(土)午後1時～

会場 屋外展示場

ギャラリー・トーク

「茨城県近代美術館コレクションについて」

講師 舟木力英(つくば美術館分館長)

外館和子(つくば美術館主任学芸員)

日時 10月20日(土)午後2時～

会場 展示室

ギャラリー・トーク

「筑波大学所蔵石井コレクションについて」

講師 齊藤泰嘉(筑波大学芸術学系教授)

寺門臨太郎(筑波大学芸術学系准教授)

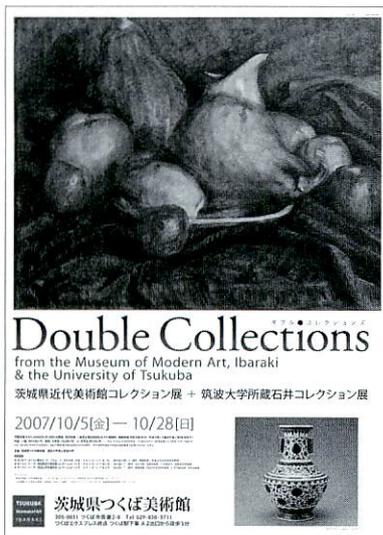
日時 10月21日(日)午後2時～

会場 展示室

●関連記事

- ・「Double Collections 県近代美術館コレクション展+筑波大学所蔵石井コレクション展」 10月3日【朝日新聞】
- ・「Double Collections」 10月5日【日本経済新聞】
- ・「茨城県近代美術館コレクション展+筑波大学所蔵石井コレクション展」 10月6日【両毛新聞】
- ・「茨城県近代美術館コレクション展+筑波大学所蔵石井コレクション展」 10月8日【茨城新聞】
- ・「ダブル・コレクションズ」 10月9日【公明新聞】
- ・「Double Collections 県近代美術館コレクション展+筑波大学所蔵石井コレクション展」 10月11日【東京新聞】
- ・「美術館と大学が連携」 10月13日【常陽新聞】
- ・「Double Collections (ダブルコレクションズ) 茨城県近代美術館コレクション展+筑波大学所蔵石井コレクション展」(舟木力英)

10月15日【茨城県近代美術館だよりNo.77】



ポスター B 2



チラシ A 4

- ・「県近代美術館と筑波大 収蔵品併せて紹介」
10月22日【茨城新聞】
- ・「タイトルの近代性 バーナード・リーチの作品をめぐって」(外館和子)
12月15日【茨城県近代美術館だよりNo. 78】

●関連放送

- ・「たかとりじゅんのビタミンJ!」10月16日【IBS茨城放送】

●出品作品一覧

No.	作品名	制作年代	製作地	所蔵先
陶磁器類				
1	中国 青花 唐草文 管耳瓶	清時代・乾隆年間 (1736-1795)	景德鎮窯	筑波大
26	中国 藍釉 白花花文盤：餅花手	明時代 17世紀	漳州窯	筑波大
27	中国 五彩 赤玉 水禽 玉堂佳器 文盤：呉州赤絵	明時代 16-17世紀	漳州窯	筑波大
28	中国 五彩 牡丹鳳凰文 盤：呉州赤絵	明時代 17世紀	漳州窯	筑波大
29	中国 青花 騎牛笛吹童子文 盤：古染付	明時代 17世紀	景德鎮窯	筑波大
30	朝鮮 白磁 扁壺	朝鮮時代 16-17世紀	広州窯	筑波大
31	朝鮮 粉青 象嵌 蓮百合文 梅瓶	朝鮮時代 15世紀		筑波大
32	朝鮮 青花 文字文 壺	朝鮮時代 18世紀		筑波大
33	中国 青花 独釣文 盤：古染付	明時代 17世紀	景德鎮窯	筑波大
34	中国 五彩 喜報三元図 盤	清時代・康熙年間 (1662-1722)	景德鎮窯	筑波大
35	日本 色絵 唐草丸文 皿：古九谷五彩手	江戸時代 17世紀	有田	筑波大
36	日本 色絵 龍虎文 輪花皿：柿右衛門	江戸時代 17-18世紀	有田	筑波大
37	日本 色絵 片身替 椿文皿：古九谷五彩手	江戸時代 17世紀	有田	筑波大
38	日本 色絵 花瓶文 大鉢：伊万里金襴手	江戸時代 18世紀	有田	筑波大
39	日本 色絵 山水図 大皿：古九谷青手	江戸時代 17世紀	有田	筑波大
40	日本 色絵 牡丹文 大皿：古九谷青手	江戸時代 17世紀	有田	筑波大
41	日本 石黒 宗麿 赤絵 花紋 皿	1923年		筑波大
66	日本 バーナード・リーチ 鉄釉 流掛 筒形 木指	1923年		筑波大

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	所蔵先
絵画類					
2	国吉 康雄	鯨に驚く姉妹	1923年	油彩・画布	筑波大
3	マックス・エルンスト	海と太陽	1933年頃	グワッシュ・グラッタージュ・紙	筑波大
4	瑛九	鳥	1954年	油彩・画布	筑波大
5	瑛九	地表	1959年	油彩・画布	筑波大
6	斎藤 義重	無題	1961年	油彩・合板	筑波大
7	菅井 汲	赤い鬼	1955年	リトグラフ	筑波大
8	池田 満寿夫	ロマンティックな風景	1965年	ドライポイント・ルーレット・エッチング	筑波大
9	池田 満寿夫	動物の婚礼	1962年	ドライポイント・エッチング	筑波大
10	池田 満寿夫	庭を横切る昆虫	1962年	ドライポイント・アクアチント	筑波大
11	池田 満寿夫	聖なる手I	1965年	ドライポイント・ルーレット	筑波大
12	桂 ゆき	虎の威を借る狐	1956年	リトグラフ	筑波大
13	池田 龍雄	むれ	1958年	インク・コンテ・水彩・紙	筑波大
14	猪熊 弦一郎	夏の森の中	1962年	水彩・紙；厚紙に貼付	筑波大
15	猪熊 弦一郎	楽しい散歩道	1964年	水彩・紙	筑波大
16	猪熊 弦一郎	【小説新潮】表紙絵原画	1966年頃	水彩・紙	筑波大
17	加納 光於	「波動説」—intaglioをめぐって No. 12	1984-85年	インタリオ	筑波大
18	中村 忠二	青い星の下で	1959年	モノタイプ	筑波大
19	中村 忠二	野の女	1959年	モノタイプ	筑波大
20	清宮 質文	野	1958年	モノタイプ	筑波大
21	駒井 哲郎	時間の迷路B	1952年	アクアチント	筑波大
22	駒井 哲郎	三匹の小魚	1958年	エッチング	筑波大
23	駒井 哲郎	実	1961年	エッチング	筑波大
24	駒井 哲郎	静物	1973年	アクアチント	筑波大
25	池田 満寿夫	色の中の婦人	1960年	ドライポイント・アクアチント	筑波大
42	ギュスターヴ・クールベ	フランシュ＝コンテの谷,オルナン付近	1865年頃	油彩・麻布	茨近美

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	所蔵先
43	エドゥアール・マネ	剣を持った左向きの少年Ⅲ	1862年	エッチング・紙	茨近美
44	エドゥアール・マネ	腕白小僧・犬と少年	1868-74年	リトグラフ・紙	茨近美
45	ポール・シニャック	ボン・ヌフ	1927年	水彩・紙	茨近美
46	藤田 嗣治	横たわる裸婦	1927年	油彩・麻布	茨近美
47	藤田 嗣治	靴を履き座せる裸婦	1926年頃	油彩・布	筑波大
48	五姓田 義松	朝陽の富士	1903-05年頃	油彩・麻布	茨近美
49	黒田 清輝	箱根宿	1896年	油彩・麻布	茨近美
50	黒田 清輝	庭の雪	1905年	油彩・麻布	茨近美
51	黒田 清輝	風景	1920年	油彩・板	茨近美
52	熊谷 守一	水死人	1931年	油彩・板	茨近美
53	小杉 未醒	濱の冬	1911年頃	油彩・麻布	茨近美
54	石井 柏亭	麻雀	1926年	油彩・麻布	茨近美
55	石井 柏亭	少女浴泉	1936年	油彩・麻布	茨近美
56	坂本 繁二郎	伊豆海岸	1917-67年頃	油彩・麻布	茨近美
57	織田 一磨	大阪風景<浮世小路>	1918年	リトグラフ・紙	茨近美
58	辻 永	須磨の朝	1956年	油彩・麻布	茨近美
59	萬 鐵五郎	風景	1912年頃	油彩・麻布	茨近美
60	中村 彝	静物	1916年	油彩・麻布	茨近美
61	中村 彝	目白の冬	1919年	油彩・麻布	茨近美
62	中村 彝	花	1923年	油彩・麻布	茨近美
63	小出 楯重	毛糸の束	1926年	油彩・麻布	茨近美
64	安井 曾太郎	寝たる女	1912年	油彩・麻布	茨近美
65	国吉 康雄	二頭の牛	1922年	油彩・麻布	茨近美
67	前川 千帆	新東京百景-渋谷百軒店	1929年	木版・紙	茨近美
68	恩地 孝四郎	楽曲に寄せる抒情No.2-2 ドビュッシー「子どもの領分」より <象の子守歌>	1950年	木版・紙	茨近美
69	長谷川 潔	長谷川潔の肖像<花>	1963年	メゾチント・紙	茨近美
70	平塚 運一	雨の玉川(日本現代創作版画大集11)	1928年	木版・紙	茨近美
71	谷中 安規	供養者	1926-1945年頃	木版・紙	茨近美
72	岸田 劉生	窓外夏景	1921年	油彩・麻布	茨近美
73	須田 国太郎	椿	1940年頃	油彩・麻布	茨近美
74	木村 莊八	静物	1917年	油彩・麻布	茨近美
75	渡辺 浩三	プロドローム(球戯場)の門	1928年	油彩・麻布	茨近美
76	児島 善三郎	婦人像	1925-28年頃	油彩・麻布	茨近美
77	里見 勝蔵	女	1930年頃	油彩・麻布	茨近美
78	林 武	婦人像	1966年	油彩・麻布	茨近美
79	鳥海 青児	アルジェの広場	1932年頃	油彩・麻布	茨近美
80	前田 寛治	帽子の男(沼沢三郎氏像)	1927年	油彩・麻布	茨近美
81	岡 鹿之助	観測所(信号台)	1926年	油彩・麻布	茨近美
82	三岸 好太郎	花	1933年	油彩・麻布	茨近美
83	三岸 節子	魚のいる静物	1963年	油彩・麻布	茨近美
84	海老原 喜之助	臥婦	1928年	油彩・麻布	茨近美
85	岡田 謙三	朝顔No.5	1979年	油彩・麻布	茨近美
86	川口 軌外	夏の浜	1955年	油彩・麻布	茨近美
87	菅井 汲	愛人たち<A>	1988年	カラーリトグラフ・紙	茨近美
88	斎藤 清	URABANDAI	1955年	木版・紙	茨近美
89	斎藤 清	模様街 大洲市	1985年	木版・紙	茨近美
90	斎藤 清	会津の冬(67)坂下立木観音	1987年	木版・紙	茨近美
91	清宮 質文	黑夜の鳥	1982年	木版・紙	茨近美
92	関野 準一郎	仔羊の追憶	1953年	エッチング・紙	茨近美
93	靉嘔	From the Dictionary 3 from "Rainbow Passes Slowly"	1971年	シルクスクリーン・紙	茨近美
94	靉嘔	Rainbow Night 6 from "Rainbow Passes Slowly"	1971年	シルクスクリーン・紙	茨近美
95	桂 ゆき	ひまわりの咲く午後	1948年	油彩・麻布	茨近美
96	麻生 三郎	まるいかたち	1980年	油彩・麻布	茨近美
97	富張 広司	新聞広告より(C)	1975年	木版・紙	茨近美
98	吉田 勝彦	地下廻廊の朝	1975年	エングレーヴィング・紙	茨近美
99	栗田 政裕	聖アントワヌの誘惑 I	1981年	木口木版・紙	茨近美

2 貸ギャラリーによる展覧会

創作活動の発表の場を提供し、地域の文化の振興に寄与する目的から、展示室を一般に貸し出し、貸しギャラリーによる展覧会を実施している。

会 期	展 覧 会 名	展 示 内 容	入館者数
4/3(木)～4/8(日)	絵付ガラス 鶴身美友展	フランスで絵付け技法を学び、東京藝術大学壁画研究室でステンドグラス講師の鶴身美友氏の展覧会。西洋と東洋の図案の作品を幻想的に展示していた。[出品数26点]	
	宮下信子写真展 「生きる・いのちみつめてーうしくぬまの詩」	牛久沼周辺地域の四季『くらしと自然』の写真展。牛久沼をより多くの人に紹介し、共存を考えるため、牛久沼の豊かさを撮影した作品が展示された。 [出品者数 9名 出品数 106点]	1292人
4/10(木)～4/15(日)	第24回 茨城現展	美術団体“現代美術家協会茨城支部”主催の展覧会。絵画・デザイン・写真・陶芸など幅広い作品が展示された。 [出品者数 48名 出品数 93点]	1137人
4/17(木)～4/22(日)	「無明の刻」～仲村寛の世界展～	小美玉市在住の画家・仲村寛氏の個展。油彩画『無明の刻』シリーズの集大成ともいえる内容。日本の土着的な感性を呼び起こす世界を展開した。 [出品数 油彩56点 水彩303点]	846人
5/30(木)～6/3(日)	第11回 紫流書道会展	つくば市在住の書家・興水紫石氏とその門下生による展覧会。かな・楷書・草書などさまざまな書体で表現された掛け軸・屏風など。 [出品者数 85名 出品数 約110点]	
	写真集団ピン歩気 魅せられてX	取手市周辺の写真愛好家のグループ展。風景・人物・スナップ・鉄道など、メンバーがそれぞれのテーマをもとに撮影した作品を発表。 [出品者数 25名 出品数 160点]	1300人
6/5(木)～6/10(日)	全日本写真連盟 第13回 常総支部写真展	写真愛好家の全国的な組織「全日本写真連盟」の常総支部展。国内外の旅先の風景・人物を捉えた、会員それぞれの視点が感じられる作品を発表。 [出品者数 23名 出品数約 110点]	
	第13回 君光と門人たち展	日本画家・北尾君光氏と門人たちの展覧会。季節の花や風景を描いた作品を展示。知的障がい者の通所施設ひまわり園の作品は、のびのびと描かれた花と果物。 [出品者数 64名 出品数 177点]	1522人
6/12(木)～6/17(日)	川村美術教室展	龍ヶ崎在住の洋画家・川村清氏が指導する絵画教室の展覧会。水彩・油彩・アクリル画など、様々な画材を使い抽象画・人物・静物・風景を描いている。 [出品者数 22名 出品数 172点]	899人

会 期	展 覧 会 名	展 示 内 容	入館者数
6/19(火)～6/24(日)	茨城県シベリア抑留関係展示会	第2次世界大戦末期における、日本人捕虜シベリア抑留の歴史を語り継ぐために、20年前から各地で開催されている展示会。抑留体験を具体的に伝えた。 [出品数 361点]	1309人
6/26(火)～7/1(日)	キルトスタジオA-two パッチワークキルト展	土浦出身で、オリジナルプリントのテキスタイルデザイナーとしても活動するパッチワーク作家・松山敦子氏とその教室のメンバーによる作品展。 [出品者数 36名 出品数 80点]	1870人
7/3(火)～7/8(日)	第13回 清明21美術協会展	新治市在住の画家・本堂清氏が講師を務める8つの水墨画と油彩画同好会の合同展。展示室ロビーには、この展示会のために制作された作品を展示。 [出品者数 90名 出品数 243点]	1058人
7/10(火)～7/16(月)	第21回 フォトサークル土浦写真展	土浦周辺に在住するアマチュアカメラマンの写真展。美しい風景や、どこか懐かしいモノクロ写真など、会員それぞれの視点で表現された作品を展示。 [出品者数 20名 出品数 159点]	
	第31回 全日本連合書道選抜展	全日本連合書道は、高校生の作品発表の場として、県南地方に発足。流派にこだわらない書道展として活動。大作、小品、臨書、創作などが出品された。 [出品者数 89名 出品数 105点]	1313人
7/18(水)～7/22(日)	草月流いけばな展	創流80周年を迎えたいけばな草月流の茨城県支部県南地区の展示会。全員参加による合作“笹竹のモチーフ”は、大空に浮かぶ夏の雲と、さわやかに吹き抜ける風の流れをイメージして制作された。 [出品者数 92名 出品数 70点]	1771人
8/29(水)～9/2(日)	第7回 7つの写真グループの展示会	写真家高野経将氏が指導する7つの写真グループが作品を持ち寄り展示。一年間の集大成を一堂に会して発表する作品展。 [出品者数 95名 出品数 280点]	1441人
9/4(火)～9/9(日)	エリザベス・ロブレス展「木のバラード」	フィリピン出身の現代美術作家、エリザベス・ロブレス氏の個展。音楽・時間・人生をテーマにした木彫や、数枚組みのレリーフ・パネルが展示された。 [出品数 35点(ただしインスタレーション、組み作品を1点とする)]	1085人
9/11(火)～9/17(月)	小牧幹とその教え子たちの展示会	土浦一高創立110年を記念する展示会。美術の授業を選んだ生徒達の自画像と、定時制生徒、学校開放講座受講生の作品、小牧教諭の油彩を展示。 [出品者数 174名 出品数 210点]	1753人
9/19(水)～9/24(月)	武井桂子木版画展	つくば市在住の版画家・武井桂子氏の個展。木・木の実・動物・虫・野菜・骨などを題材にした作品は、生き物をつめる観察力のたまもの。 [出品数 約300点]	1134人

会 期	展 覧 会 名	展 示 内 容	入館者数
9/26(水)～9/30(日)	茨城写真家協会展2007現代茨城の 写真家たち	茨城県在住のプロカメラマン13名による写真展。仕事と いう枠を外れて、この展覧会のために撮りおろした作品 ばかりが展示された。[出品者数 13名 出品数 403点]	1704人
10/31(水)～11/4(日)	第26回 茗溪学園美術展	茗溪学園の生徒・父母・教職員が一体となって開く展覧 会。生徒が美術の授業で制作した作品や生徒の父兄・教 職員・学校OBの作品が展示された。 [出品者数 960名 出品点数 約2300点]	2211人
11/10(土)～11/13(火)	ねんりんピック茨城2007美術展	全国から募集した60歳以上の方々による日本画・洋画・ 彫刻・工芸・書・写真の作品を展示。つくば美術館では 日本画と書の作品が展示され、洋画・彫刻・工芸・写真 の作品はつくば国際会議場で展示された。 [出品者数 197名 出品点数 197点]	1135人
11/16(金)～11/18(日)	第1回 テーブルコーディネート展 「暮らしの真ん中に食卓を」	つくばでテーブルコーディネート講座を開催する田淵弘 子氏とその受講者による展覧会。家族や友人を想定して コーディネートした食卓を展示。 [出品者数 29名 出品点数 約35点]	950人
11/20(火)～11/25(日)	第23回 筑波大学大学院芸術研究科2年 人間総合科学研究科前期芸術専攻1年 洋画・日本画・版画 作品展 (MC展)	「MC」とはMaster's Program Courseの略。 筑波大学の卒業生のほか、他大学出身者や留学生も多く 在学し制作・研究している。それぞれの分野の作品の「い ま」が感じられる展覧会となっていた。 [出品者数 36名 出品数 55点]	1400人
11/27(火)～12/2(日)	第62回 県南高等学校連合美術展	県南地区の高校の交流と親睦を目的とした展覧会。今回 は21校が参加、絵画・デザイン・立体などの作品のほか、 共同制作の作品5点も出品された。 [出品者数 346名 出品数 346点]	962人
12/4(火)～12/9(日)	第7回 守谷陶芸会「つくば展」	県南地域を中心に陶芸に取り組む人が結成した会。陶芸 作家を含む会員と一般公募者は、伝統的な焼き物から現 代陶器まで幅広い作風の作品を出品した。 [出品者数 35名 出品数 85点]	
	第12回 つくば太湖の会水墨画展	日本画家・大竹卓氏の指導の下、つくば市在住の会員が、 技法だけではなく背景となる歴史や考え方を学びながら 制作に取り組んでいる水墨画の作品展。 [出品者数 17名 出品数 75点]	949人
12/11(火)～12/16(日)	第11回 取手松陽美術科展「白面 書生一未熟者達のアート」	茨城県立取手松陽高校美術科の作品展。油絵・日本画な どの専攻と陶芸・版画など副専攻があり、卒業制作をふ くむ生徒作品と美術科職員の作品を展示。 [出品者数 106名 出品数 110点]	1086人
12/18(火)～12/24(月)	大坪由明日本画展「花図鑑」	つくば在住の日本画家・大坪由明氏が、画業30年と自身 の還暦を記念し、日本美術院展出品作を中心に、花の小 品を集めた作品の展覧会。 [出品数 55点]	

会 期	展 覧 会 名	展 示 内 容	入館者数
	常陸彫友会作品展	土浦在住の面作家・斎藤高夫氏の指導の下、お面の制作に励むグループの展覧会。伝統的な面のパターンから作られた作品に、各自の個性が光る。 [出品者数 28名 出品数 258点]	934人
12/26(水)～1/6(日)	第4回 DC展 筑波大学大学院博士課程芸術学専攻・後期芸術専攻 洋画・日本画・彫塑・書 作品展	筑波大や他の大学から筑波大博士課程芸術学分野に進んだ学生が、明確なテーマを持って日々研究・制作に取り組んだ作品の展覧会。 [出品者数 19名 出品数 49点]	1224人
1/8(水)～1/14(月)	第7回 茨城一陽会 —これまで—そして—ここから—	全国公募展「一陽展」に出品する、茨城在住の作家による支展。「これまで」と「これから」を展示コンセプトとした、近作を中心にした作品を発表。 [出品者数 絵画6名・彫刻20名 計26名 出品点数 53点]	1044人
1/16(水)～1/20(日)	第4回 ラパン展	地域の絵画グループによる展覧会。身近な人物や旅先に取材した風景、静物画や抽象に至るまで、それぞれが思い思いのテーマを油彩で描いている。 [出品者数 34名 出品点数 72点]	891人
1/22(水)～1/27(日)	第1回 グリーン・リープス展	絵画を共通の趣味とする仲間が結成。つくば・かすみがうら・土浦・牛久・桜川・美浦村に在住する会員の作品展。油彩による具象絵画が展示された。 [出品者数 10名 出品点数 44点]	
	夢追い人～増井久恵展	増井久恵氏の個展。クレヨンで描かれた仏像の小品から心象風景を描いたという半具象から抽象的な作品、女性の心の内面を表現した作品を展示。 [出品点数 56点]	966人
1/29(水)～2/3(日)	第16回 つくば市文化協会芸術展	市内全域から芸術愛好者が集い、日頃の精進の成果を発表。絵画部門、写真部門、書道部門、陶芸部門、手工芸部門の作品が、展示された。 [出品者数 359名 出品点数 404点]	1840人
2/5(水)～2/10(日)	2008年筑波大学芸術専門学群卒業制作展：前期	筑波大学芸術専門学群、美術専攻（洋画・彫塑・日本画・書・版画）と芸術学専攻（芸術学・芸術支援学）の学生の研究の成果を発表する卒業制作展。 [出品者数 52名 出品点数 99点]	
2/12(水)～2/17(日)	2008年筑波大学芸術専門学群卒業制作展：後期	筑波大学芸術専門学群の学生による卒業制作展。構成（総合造形・クラフト・構成・ビジュアルデザイン）とデザイン（情報・プロダクト・環境・建築）による平面・立体・映像等幅広い表現が展開された。 [出品者数 67名 出品点数 77点]	3494人 (前期・後期あわせて)

会 期	展 覧 会 名	展 示 内 容	入館者数
2/19(火)～2/24(日)	2008年筑波大学芸術研究科修了展 [美術・デザイン・世界遺産]	大学院芸術研究科の修了制作展。美術専攻は洋画・版画・日本画・彫塑・書，デザイン専攻は総合造形・視覚伝達デザイン・構成・環境デザイン・生産デザイン・建築デザイン，世界遺産専攻の研究が発表された。 [出品者数 65名 出品点数 95点]	1804人
2/27(水)～3/2(日)	第7回 チャレンジアートフェスティバルinつくば	障害のある方がすべての人に向けて発信するイベント。27グループによる絵画・書・工芸など，さまざまなアート作品が展示された。 [出品者数 27グループ 出品点数 326点]	1594人
3/4(火)～3/9(日)	いばらきの人形作家100人展 —ジャンルを越えた創り手たち—	県内の人形作家が，プロ，アマ，ジャンルを問わず出品。布張人形・球体関節人形・固定ポーズ人形・陶・彫刻・レリーフと，多種多様な作品が並んだ。 [出品者数 100名 出品点数 236点]	2717人
3/11(火)～3/16(日)	第3回 極美つくば展	公募団体「新極美術協会」による展覧会。具象絵画を中心に，風景や人物・静物などを描いた油彩画・水彩画・版画・日本画・水墨画・絵葉書を展示。 [出品者数 89名 出品点数 95点]	
	第6回 彩光展	水彩画を中心に作品を制作する「彩光会」の，県南・県西在住の会員による展覧会。水彩やアクリル・パステル・鉛筆などを用いて制作した作品を展示。 [出品者数 19名 出品点数 54点]	1777人
3/18(火)～3/23(日)	第10回記念アートシャワー絵画展	牛久・つくばに在住する作家によって結成されたグループ。結成10周年を記念して80号から100号の大型の作品を中心に，新作や過去の作品を展示。 [出品者数 19名 出品点数 75点]	1297人
3/25(火)～3/30(日)	日本プロフェッショナルアートアカデミー作品展	'03年つくば市に設立された文化教室の発表会。子供から大人まで幅広い年齢層の生徒と，指導する先生の水彩・油彩・陶芸などの作品が展示された。 [出品者数 27名 出品点数 75点]	
	ガーデンデザイン展「心地いい庭」 Vol.3	ひたちなか市の環境デザイナー・吉川和雄氏の展覧会。氏が撮影した写真パネル・建築模型・映像により，「スローライフ・スローガーデン」を展示した。 [出品点数 26点]	1001人